

平成24年度

教育改革ICT戦略大会

開催要項

日 時 平成24年9月4日(火)・5日(水)・6日(木)

会 場 アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

東京都千代田区九段北4-2-25 TEL:03-3261-9921 <http://www.arcadia-jp.org/access.htm>
JR中央線(総武線)/地下鉄南北線・有楽町線・都営新宿線「市ヶ谷駅」下車 徒歩2分

主 催 公益社団法人私立大学情報教育協会

後 援 文部科学省

テーマ 「質保証を目指した教育改革」

開催趣旨

平成20年12月の「学士課程教育の構築に向けて」の答申後、各大学における教育課程の体系化、単位制度の実質化、教育方法の改善、成績評価の厳格化への改革努力が期待されてきたが、国民や産業界は質保証に向けた改善への取り組みについて満足していない。成長社会から成熟社会へと移行しつつある現在、社会の構造的な変化に対応した大学の人材育成の在り方が求められるようになってきており、未知の時代を切り拓く力を獲得できる質の高い教育の実現に向け、国をあげた大学改革プランの実践が課題とされてきている。

そこで本大会では、大学改革を着実に進めていくための戦略について、大学関係者で意識合わせし、具体的に取り組むための教育課程の体系化・総合化、質的転換を可能にする学修の仕組み、ICT活用を含めた教育・学習環境などについて課題を整理し、解決策を探究する。また、公募によるICTを活用した教育や支援の事例紹介、大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介(ポスターセッション)を通じて、各大学の取り組みや現状を把握するとともに、教育ならびに支援の改善策を模索する。

～タイムテーブル～

9月4日(火) 全体会

10:50	開会挨拶
11:00	主体的な学修を実現するための課題
12:30	休 憩
13:30	学修の基本問題を実現するための教学マネジメントの考察
14:40	休 憩
15:00	教育課程の体系化、順次性への取り組み
15:40	予習を徹底した話し合い学習法
16:20	LMS導入による効果的な事前・事後学修
17:00	終 了

9月5日(水) テーマ別自由討議

10:00	分科会		12:30
	A	B	
12:30	ポスターセッション 概要		ポスター セッション
12:45	休 憩		
14:00	分科会		
	C	D	
16:30	休 憩		
16:45	情報交流会		
18:00	終 了		17:00

9月6日(木) 大会発表(66件)

	A	B	C	D	E	10:00
10:00						ポスターセッション
11:00	休 憩					
11:10						
11:50	ポスターセッション 概要					
12:10	休 憩					
13:30						
14:30	休 憩					
14:40						
15:40	休 憩					
15:50						
16:50	終 了					
						17:30

発表内容および発表者名は別紙の発表一覧またはWebよりご覧下さい。

プログラムは次ページ以降をご覧ください。

平成24年度 教育改革ICT戦略大会 プログラム

9月4日 全体会

10:50	開会挨拶 向殿 政男 会長（公益社団法人 私立大学情報教育協会）	会場
11:00	講演：主体的な学修を実現するための課題 基礎学力の低下、学習意欲の低下という問題を抱える中で、生涯にわたり主体的に考える力を育成していくことが求められている。そのためには、これまでの受け身の教育から課題解決型の教育に転換することが避けられない。学生が授業の前後に自主的に学びに取り組むことが必要である。しかし、実態は教室内での学修にとどまることが多く、自ら進んで取り組む学修が組織的に展開されていない。中央教育審議会大学分科会大学教育部会の答申を踏まえて、教員の意識改革、学士課程教育の体系化など、総合的な視点から学修の質的転換を図るための課題を整理する。 中央教育審議会大学分科会大学教育部会専門委員 学校法人上智学院理事長 高祖 敏明 氏	3階 富士
12:30	休 憩	
13:30	講演：学修の基本問題を実現するための教学マネジメントの考察 学士課程教育の質的転換を図るための基本的な課題を踏まえて、教学マネジメントとして対処すべき問題を具体的に掘り下げ、共通認識を深める。例えば、事例をもとに学士課程教育の体系化・順次性をもたせた教育プログラムの必要性、授業科目間の調整、教員相互によるシラバスの内容点検・調整、効果的な事前・事後学修のあり方などの方向性を紹介する。 中央教育審議会大学分科会大学教育部会専門委員 学校法人早稲田大学理事 田中 愛治 氏	
14:40	休 憩	
15:00	事例紹介：教育課程の体系化・順次性への取り組み 教員同士の連携・協力による組織的な教育体制について理解を深めるため、実践している大学の事例をもとに、学士力の明示化、科目の位置づけ、授業履修の上限、アドバイザーの導入による履修指導、ポートフォリオの活用、GPAの厳格運用など、教育課程の基盤環境を形成するための制度的な枠組みについて、その重要性を確認する。 国際基督教大学 学務副学長 森本あんり 氏	
15:40	事例紹介：予習を徹底した話し合い学習法 教室外での学習時間を確実に高める学習の仕組みとして、事前に課題を与えて予習を義務付け、学習した内容を授業で発表することを繰り返す中で、事前学習を主体的に取り組ませる授業（LTD話し合い学習法）の実体験について紹介する。学生が自然に学びに入り、達成感が得られるような学習の仕組みが今後組織的に取り入れられるよう、その重要性について共通理解を深める。 神戸女学院大学 文学部教授 古庄 高 氏	
16:20	事例紹介：LMS導入による効果的な事前・事後学修 学習時間を確保し、効果的な学びを実施するための一つの手法として、ICTを用いた学習支援システムの中で、教員と学生の双方向による個人学習支援を学部全体の問題として取り組んだ事例を紹介する。教員のICT活用に対する理解の呼びかけや、教員間で作成した共有コンテンツの開発など、教員が学部全体で連携して事前・事後学修に取り組むことの重要性や課題について共通理解を深める。 名古屋学院大学 経済学部教授 児島 完二 氏	
17:00	終 了	

9月5日 テーマ別自由討議

■ 課題提起の詳細情報や未定部分は、逐次Webに掲載します
<http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2012.htm>

10:00 }	【分科会A】学習意欲を引き出す学びの仕掛け 学習意欲を引き出すには授業に対する学びの動機付けが必要であるが、これだけでは問題は解決しない。学びに必要な学習スキルや助言を通じた個人学習支援が重要である。そこで、授業で理解できない部分を教室外で、学生目線で相談・助言する上級生によるアドバイザー制度を導入した事例、「振り返りシート」を用いた社会人基礎力のベンチマーキングによる取り組み事例を題材に、学習意欲の喚起を促す学びの仕掛けについて考察する。 課題提起：西南学院大学 毛利 康俊 氏（法学部教授） 武蔵大学 松島 桂樹 氏（経済学部教授）	会場 5階 大雪
10:00 }	【分科会B】大学における情報リテラシー教育の方向性と高校教育との接続 学士力の汎用的技能の一部として求められている学部共通の情報活用能力の知識・技能・態度について到達目標を紹介し、組織的に教育を展開していくための課題（カリキュラムでの位置づけ、リテラシー教育と分野別教育との連携、教員の情報活用能力の研修）について、委員会でのとりまとめを中心に考察する。また、高校での情報科教育が普及・進展していくための戦略、例えば大学入試センター試験における教科「情報」の出題などについて、その実現に向け関係者の協力と理解を深める。 課題提起：公益社団法人 私立大学情報教育協会 情報教育研究委員会	5階 穂高西
12:30 }	大学・企業によるICT導入・活用事例(ポスターセッション)の概要紹介	各会場
12:45	休憩	
14:00 }	【分科会C】ICTを活用した課題解決型の能動的学修 受動的な学修では、主体的に考える力を持たせることはできない。能動的な学修とするには、教員と学生による意見交流や学生同士による教え合い、学び合いなどの課題解決型の学修で思考力や表現力を引き出し、その知性を鍛える授業が必要となる。そこで、一方的な説明に終始しがちな講義型授業から、グループディスカッションによる対話型学習の導入とそれを支援するための上級学生による授業補助、eラーニングシステムによる予習・復習環境の整備などを通じて、主体的な学修を深める工夫を考察する。 課題提起：筑波大学 石田 東生 氏（学長補佐、教育企画室長） 玉川大学 菊池 重雄 氏（教学部長）	5階 大雪
14:00 }	【分科会D】クリッカー技術を始めたとした双方向授業 授業中の理解度をリアルタイムで客観的に把握し、理解度の状況に応じて授業のシナリオを柔軟に変えることができる一つのツールとしてクリッカー技術がある。学部・学科を通じた組織的な取り組みや、学生の関心や考え方に応じた授業展開を試みている使い方など、今後効果的な取り組みが期待される。一方通行的な授業から学生が授業に参加して考える授業を実現するために、クリッカー技術の導入と他の授業方法とを組み合わせた新たな双方向授業について考察する。 課題提起：立正大学 今井 賢 氏（副学長、経済学部教授） 東京理科大学 村上 学 氏（基礎工学部准教授）	5階 穂高西
16:45 }	情報交流会 参加費 別途3500円が必要です。	6階 伊吹
12:30 }	大学・企業によるICT導入・活用事例(ポスターセッション)	5階 廊下

9月6日 大会発表(66件)

別紙の発表一覧をご覧ください。

平成24年度 教育改革ICT戦略大会 9月6日(木) 発表一覧(65件)

＊発表者名は氏名の都合上、発表代表者名のみ掲載しています。 会場は5会場で同時開催します。

	発表番号	分野	発表タイトル	発表代表者名	大学名	
10:00	A-1		発表中止			5 F 穂 高 東
10:20	A-2	教育方法	PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)科目におけるSNS活用	吉田 咲子	京都光華女子大学	
10:40	A-3	教育方法	コミュニケーションスキルを育成する実践的なカリキュラム開発	田上 正範	関西大学	
11:00			休 憩(10分)			
11:10	A-4	教育方法	教育支援システムとミニツペーパーを活用した授業改善サイクル	高山 秀造	東海大学	
11:30	A-5	教育方法	国内外の教師交流ネットワークを活用した日本語学習コンテンツの開発と評価	加藤 由香里	東京農工大学	
11:50			大学・企業連携による実践事例の概要(20分)			
12:10			休 憩(80分)			
13:30	A-6	教育方法	クラウド型グループウェアを利用した自己調整学習のための学習環境デザイン	神谷 良夫	愛知学泉短期大学	
13:50	A-7	教育方法	iPadとオンラインストレージを利用したグループ学習における情報共有の試み	広川 美津雄	東海大学	
14:10	A-8	教育方法	社会調査の実習教育におけるwikiを用いたグループワークの実践	廣瀬 毅士	立教大学	
14:30			休 憩(10分)			
14:40	A-9	教育方法	iPadを利用したグループワークについて	岡田 工	東海大学	
15:00	A-10	教育方法	ストレージを活用したプロジェクトマネジメント学習	岸川 洋	九州情報大学	
15:20	A-11	教育方法	OSSを活用したゼミナール学習の質向上への試み	田中 真	東海大学	
15:40			休 憩(10分)			5 F 穂 高 西
15:50	A-12	教育方法	ビジネススクールの社会科学論文作成におけるICT教育の重要性	松本 和幸	立教大学	
16:10	A-13	教育方法	インターネットを活用したタスク型TOEIC対策	西口 純代	東京理科大学	
10:00	B-1	遠隔教育	海外派遣留学における家庭－大学協働教育のICT活用と支援	千葉 雅史	東海大学	
10:20	B-2	遠隔教育	2箇所のコンピューター教室を利用した双方向性連携授業環境の構築とその応用	坂田 信裕	獨協医科大学	
10:40	B-3	遠隔教育	看護学大学院生と海外講師との双方向遠隔講義システム活用による発表討論の実践	高橋 琢理	東京医科歯科大学	
11:00			休 憩(10分)			
11:10	B-4	修学支援	物理学科推薦入学者のための入学前教育の開発	勝野 喜以子	成蹊大学	
11:30	B-5	修学支援	Moodleを用いた入学前教育とその効果	澤口 隆	東洋大学	
11:50			大学・企業連携による実践事例の概要(20分)			
12:10			休 憩(80分)			
13:30	B-6	修学支援	初年次キャリア教育科目と連動させたeポートフォリオの2年目の運用	梶木 克則	甲子園大学	
13:50	B-7	修学支援	学生活動記録システム(HIT－STUDENT)の開発とその効果	鬼追 一雅	広島工業大学	
14:10	B-8	修学支援	学生カルテ・ポートフォリオシステムを用いた全学的な修学支援の試み	朴 恵一	大阪経済法科大学	
14:30			休 憩(10分)			5 F 大 雪 東
14:40	B-9	修学支援	オープンソースを活用した人間力形成支援学生ポートフォリオの構築	前野 博	至学館大学	
15:00	B-10	修学支援	キャリア教育支援のためのeポートフォリオの実証開発	山川 広人	千歳科学技術大学	
15:20	B-11	修学支援	学生の活動体験ポートフォリオによる就業力育成支援	石塚 隆男	亜細亜大学	
15:40			休 憩(10分)			
15:50	B-12	修学支援	ICTを利用した就職活動を支援するキャリア教育科目の開設	藤井 敏史	北海道情報大学	
16:10	B-13	修学支援	「就職活動体験記」によるキャリア形成支援プログラム	豊田 雄彦	自由が丘産能短期大学	
16:30	B-14	修学支援	豪州モナシュ大学で創始された画期的な研究者養成プログラム:プロフェッショナル・ディスプテーションについて	中川 武夫	北陸先端科学技術大学院大学	
10:00	C-1	授業支援システム	大教室型講義における双方向性授業へのICT追加導入について	田口 忠緒	名城大学薬学部	
10:20	C-2	授業支援システム	教員のタブレット型端末利用による個別対応支援システム	山口 崇志	東京情報大学	
10:40	C-3	授業支援システム	数学の授業におけるスキャナーを用いた予習・復習の確認演習の実施	北庄司 信之	金沢工業大学	
11:00			休 憩(10分)			
11:10	C-4	授業支援システム	スマートフォンを用いた授業内での学習者フィードバック収集の試み	鎌田 敏之	愛知教育大学	
11:30	C-5	授業支援システム	「学生主導型授業評価」支援する教育システムの構築:R言語によるモジュール開発	梅村 信夫	南山大学	
11:50			大学・企業連携による実践事例の概要(20分)			
12:10			休 憩(80分)			
13:30	C-6	授業支援システム	IC学生証を活用した出席管理システムによる休退学者減少への取り組み	小川 英邦	広島工業大学	
13:50	C-7	授業支援システム	オープン・エデュケーション促進手法の検討	犬塚 潤一郎	実践女子大学	
14:10	C-8	授業支援システム	壁面電子黒板とモバイル端末の連携によるインタラクティブな一斉授業環境の構築と実践	柳沢 昌義	東洋英和女学院大学	
14:30						
14:40	C-9	授業支援システム	音声入力を用いた発想技法支援システムの構築	輅 大輔	近畿大学	
15:00	C-10	授業支援システム	講師を講義スライドの背後にリアルタイム没入表示できる映像作成システム	板宮 朋基	東京工科大学	
15:20	C-11	授業支援システム	マルチタッチ式52型タブレット端末による次世代型教育・学習支援体制の構築	高橋 隆男	東海大学	
15:40			休 憩(10分)			
15:50	C-12	教材作成	情報教育学習システムにおける3DCGの有益性の基礎検討	加々見 薫	日本女子大学	
16:10	C-13	教材作成	日本舞踊におけるモーションキャプチャ利用のフィードバック・ループの検討	丸茂 美恵子	日本大学	
16:30	C-14	教材作成	基本的臨床技能実習「乳房診察」の教育開発、実践、評価	柵山 年和	東京慈恵会医科大学	

	発表番号	分野	大学名	発表代表者名	発表タイトル	
10:00	D-1	クラウド	データセンターを利用したクラウド型演習室の構築	福山 達也	千葉工業大学	5 F 大 雪 西
10:20	D-2	クラウド	クラウド環境を用いた大学情報センターのサービス利用について	高橋 友一	名城大学	
10:40	D-3	クラウド	クラウドサービスとBYODによる「コンピュータ教室」を廃したICT教育環境	遠山 緑生	嘉悦大学	
11:00	休 憩(10分)					
11:10	D-4	データベース	歴史的電子音楽資料データベースとその21世紀音楽教育への 応用	石上 和也	大阪芸術大学	
11:30	D-5	データベース	AFP通信社の報道機関向けオンラインデータベースを利用した教育・研究の可能性。	田中 岳生	文化学園大学	
11:50	大学・企業連携による実践事例の概要(20分)					
12:10	休 憩(80分)					
13:30	D-6	情報教育	iPadを用いたコンピュータリテラシー教育	藤田 勝康	北海道工業大学	
13:50	D-7	情報教育	能力別クラスわけによる「情報リテラシ」教育の学習効果について	中田 美喜子	広島女学院大学	
14:10	D-8	情報教育	情報リテラシー教育のための教科書とiPad導入の教育効果の検証	高橋 真	大谷大学	
14:30	休 憩(10分)					
14:40	D-9	情報教育	全学的な情報処理技能向上を志向した必修・選択科目の連携	記谷 康之	広島修道大学	
15:00	D-10	情報教育	基礎教養教育科目「情報リテラシー」の授業補助にもとめられる資質能力について	波多野 和彦	江戸川大学	
15:20	D-11	情報教育	ポータブルサーバ機能を利用したネットショップサイト構築演習の試み	樽磨 和幸	大阪商業大学	
15:40	休 憩(10分)					
15:50	D-12	情報教育	リンクを意識したポジショニングマップの作品制作とそのアプローチ	森下 博	兵庫大学	
16:10	D-13	情報教育	Web環境を利用したプログラミング教育支援システムの開発	高山 文雄	いわき明星大学	
16:30	D-14	情報教育	地域と連携した実践的ソフトウェア開発教育の試みとその効果	糸野 文洋	日本工業大学	
10:00	E-1	LMS利用	Moodleを用いたビジネスゲーム学習教材としての経営分析小テストの実践	田窪 美葉	大阪国際大学	6 F 阿 蘇 西
10:20	E-2	LMS利用	GoogleFormを利用したオンライン小テストシステム	堤 豊	熊本学園大学	
10:40	E-3	LMS利用	「e-learningコンテンツ制作を通じた協調学習」による社会人資質の向上	山本 恵	名古屋学芸大学短期大学部	
11:00	休 憩(10分)					
11:10	E-4	FD	歯科医学教育における教員を対象とするICTワークショップの取り組み	割田 幸恵	日本歯科大学	
11:30	E-5	FD	ICT活用指導力向上のための教員研修カリキュラムと実践	内橋 美佳	目白大学	
11:50	大学・企業連携による実践事例の概要(20分)					
12:10	休 憩(80分)					
13:30	E-6	LMS運用	対話エージェントを利用したe-learning ガイドの開発	長谷川 大	青山学院大学	
13:50	E-7	LMS運用	アンチ・ユビキタス・ラーニングーICTによる学習支援のパラダイムシフトー	天野 憲樹	岡山大学	
14:10	E-8	LMS運用	LMSの全学的な導入とその活性化の原因分析	西谷 滋人	関西学院大学	
14:30	休 憩(10分)					
14:40	E-9	LMS運用	LETUS(理科大版Moodle)を用いた理工系授業実践報告	佐藤 喜一郎	東京理科大学	
15:00	E-10	LMS運用	機関が提供するeラーニング教材のゼミクラスにおける活用と教職協働による運営	中罵 康二	大阪学院大学	
15:20	E-11	LMS運用	Moodle 2.2 への update の実施と教訓	石川 高行	大阪国際大学	

大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション)

日 時: 9月5日(水)12:30~17:00 / 9月6日(木)10:00~17:30
会 場: 5F 廊下

大学・短期大学と当協会の賛助会員企業との連携によるICT導入・活用の事例紹介をポスターセッション形式で行います。事例内容は、後日Webに掲載します。



申込方法 **Web からの申込み**

下記 Web の「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2012.htm>

FAX での申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

※申込内容で当協会が取得する個人情報、次の目的により利用します。「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、当日配布する資料（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

申込締切 **8 月 30 日 (木)**

※締切日以降の申込や当日申込も受け付けますが、締切日までに申込みされた方の大学名、氏名を当日配布の予稿集の参加者名簿に掲載します。

参加費振込 できるだけ 8 月 31 日 (金) までに振込み下さい。

一括申込みの場合

振込依頼人名には、大学名（社名）の他にできるだけキャンパス名または部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合

振込依頼人名には、大学名と氏名の両方をできるだけ入れて下さい。

振込先

りそな銀行 市ヶ谷支店 普通 0 4 3 4 6 3 5

ｼﾞｮｳｷｮｳ (ﾀｲｶｲｲﾝｶﾋ)

私情協（大会参加費）

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北TLビル 4F TEL:03-3261-2798

※振込手数料は申込者各自で負担願います。

※ 9 月 1 日（土）までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。それ以降のキャンセルについては、資料代（送料含む）、振込手数料、その他実費（情報交流会申込みの場合）を請求させていただき、後日資料を郵送いたしますので、ご了承下さい。

参加費

3 日間参加で割引に！ 加盟校 20,500円→18,000円 非加盟校 41,000円→36,000円

※9 月 5 日「情報交流会」は別途、下記の参加費が必要です。

※9 月 6 日発表者は全プログラムに参加可能（申込不要）ですが、9 月 5 日情報交流会は一般申込み・参加費が必要です。

※参加費はすべて税込金額	9 月 4 日 (火)	9 月 5 日 (水)	9 月 5 日 情報交流会	9 月 6 日 (木)
加盟大学・短期大学、賛助会員	7,500 円	6,500 円	3,500 円	6,500 円
非加盟大学・短期大学	15,000 円	13,000 円	3,500 円	13,000 円

*当協会加盟校は右サイトで確認下さい <http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

参加者には、加盟校に限定して当日の発表スライド（許可が得られたもの）を後日閲覧できるようにします。



問い合わせ・送付先

公益社団法人私立大学情報教育協会事務局

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北TLビル 4F

TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp（問い合わせ用）

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2012.htm>

平成24年度 教育改革ICT戦略大会 参加申込用紙

連絡代表者

大学名・社名	部署名		担当者名	
	連絡先 大学 ・ 自宅 ・ 会社	TEL	FAX	
	住所 〒			

領収書 8月31日振込分まで当日名札に付けてお渡しし、以降は連絡代表者に郵送します。

宛 名	: 個人名 ・ 大学名(社 名)
金 額(複数名申込みの場合):	参加者人数分まとめて一括 ・ 参加者ごとに1枚ずつ記入

3日間参加すると、割引になります 加盟校 20,500円→18,000円 非加盟校 41,000円→36,000円 ※1,2
--

※1 9月5日「情報交流会」は別途、参加費(3,500円)が必要です

※2 9月6日の発表者は全プログラムに参加可能(申込不要)ですが、9月5日情報交流会は一般申込みと参加費が必要です

※3 電子メールアドレスは、当協会のイベント案内に利用し、目的以外の利用もしくは第三者提供はいたしません。

参加費一覧表

参加日数	9月4日	6月5日	情報交流会	9月6日	合計(円)	
					会員校	非会員校
3日間	○	○	○	○	21,500	39,500
	○	○		○	18,000	36,000
2日間	○	○	○		17,500	31,500
	○	○			14,000	28,000
	○		○	○	17,500	31,500
	○			○	14,000	28,000
		○	○	○	16,500	29,500
		○		○	13,000	26,000
1日	○		○		11,000	18,500
	○				7,500	15,000
		○	○		10,000	16,500
		○			6,500	13,000
			○	○	10,000	16,500
				○	6,500	13,000

氏 名	所属・役職名	9 月 4 日	9 月 5 日		情報交流会 (9月5日)	9 月 6 日		合計金額
	E-mail ※3	該当する金額に○をつけ、5日、6日については、「主に参加する」分科会やグループに○をつけて下さい。 当日、参加分科会・グループの変更、移動は可能です。						上表を参照下さい
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	午前: A ・ B	会 員:3,500円	会 員:6,500円	A ・ B ・ C	円
		非会員15,000円	非会員:13,000円	午後: C ・ D	非会員3,500円	非会員:13,000円	D ・ E	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	午前: A ・ B	会 員:3,500円	会 員:6,500円	A ・ B ・ C	円
		非会員15,000円	非会員:13,000円	午後: C ・ D	非会員3,500円	非会員:13,000円	D ・ E	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	午前: A ・ B	会 員:3,500円	会 員:6,500円	A ・ B ・ C	円
		非会員15,000円	非会員:13,000円	午後: C ・ D	非会員3,500円	非会員:13,000円	D ・ E	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	午前: A ・ B	会 員:3,500円	会 員:6,500円	A ・ B ・ C	円
		非会員15,000円	非会員:13,000円	午後: C ・ D	非会員3,500円	非会員:13,000円	D ・ E	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	午前: A ・ B	会 員:3,500円	会 員:6,500円	A ・ B ・ C	円
		非会員15,000円	非会員:13,000円	午後: C ・ D	非会員3,500円	非会員:13,000円	D ・ E	

合 計

円